



令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月6日

上場会社名 株式会社 大水

上場取引所 東

コード番号 7538 URL <http://www.daisui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務広報部長 (氏名) 重光 誠

TEL 06-6131-5190

四半期報告書提出予定日 令和元年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	60,352	1.6	25		37	69.0	24	91.7
31年3月期第2四半期	61,308	0.3	51		119	102.3	292	

(注)包括利益 2年3月期第2四半期 79百万円 (%) 31年3月期第2四半期 332百万円 (309.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	1.76	
31年3月期第2四半期	21.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	20,174	6,845	33.9
31年3月期	21,802	7,007	32.1

(参考)自己資本 2年3月期第2四半期 6,845百万円 31年3月期 7,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		6.00	6.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)31年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	1.8	460	90.9	570	48.5	440	8.2	32.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	13,774,819 株	31年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	49,931 株	31年3月期	49,899 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	13,724,894 株	31年3月期2Q	13,724,933 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり雇用や所得環境は改善が続く一方で、海外経済の減速等により輸出や生産に弱さがみられるなど、力強さに欠ける状況となりました。

当水産流通業界におきましては、国際的な水産物需要の高まりから、仕入れコストの上昇が続くなか、天候不順などの影響もあり国内での荷動きは伸び悩みなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が603億52百万円（前年同期比9億55百万円減）となり、利益面では営業損失25百万円（前年同期は51百万円の営業利益）、経常利益37百万円（前年同期比82百万円減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円となり、前年同期に特別利益として固定資産売却益1億81百万円を計上していたため、前年同期比は2億68百万円の減益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

水産物販売事業は、売上高については天候不順などによる不安定な漁獲状況や当第2四半期の主力商材として期待していたサンマ等の青魚の不漁などの影響により国内の販売が伸び悩み、602億59百万円（前年同期比9億55百万円減）となりました。利益面では売上総利益の減少に加え、物流費の増加等の影響によりセグメント利益は61百万円（前年同期比73百万円減）となりました。

冷蔵倉庫等事業は、売上高については1億22百万円（前年同期比0百万円減）と概ね前年同期並みを確保することができました。利益面では冷蔵庫設備の改修費用等の影響によりセグメント損失は0百万円（前年同期は5百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて16億28百万円減少し、201億74百万円となりました。これは商品及び製品が5億45百万円増加した一方、現金及び預金が14億94百万円、受取手形及び売掛金が8億33百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて14億66百万円減少し、133億28百万円となりました。これは短期借入金が4億99百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が17億93百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億61百万円減少し、68億45百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が93百万円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、21億62百万円（前年同期比1億79百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少による資金の増加（8億43百万円）、仕入債務の減少による資金の減少（17億97百万円）、たな卸資産の増加による資金の減少（5億45百万円）等により15億27百万円の支出（前年同期は4億10百万円の収入）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による資金の減少（2億8百万円）、貸付けによる支出（85百万円）等により2億98百万円の支出（前年同期は5億58百万円の収入）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加（4億99百万円）、長期借入金の返済（83百万円）、配当金の支払（81百万円）等により3億30百万円の収入（前年同期は10億64百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、令和元年5月13日付の「平成31年3月期決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,657	2,162
受取手形及び売掛金	9,343	8,510
商品及び製品	3,012	3,557
短期貸付金	300	300
未収消費税等	73	84
その他	178	170
貸倒引当金	△17	△16
流動資産合計	16,547	14,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728	874
土地	1,723	1,723
その他(純額)	245	242
有形固定資産合計	2,697	2,840
無形固定資産		
	49	74
投資その他の資産		
投資有価証券	2,346	2,218
長期貸付金	285	360
破産更生債権等	659	659
固定化営業債権	817	811
繰延税金資産	22	24
その他	108	141
貸倒引当金	△1,731	△1,725
投資その他の資産合計	2,508	2,490
固定資産合計	5,255	5,404
資産合計	21,802	20,174

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,519	6,725
短期借入金	1,534	2,034
1年内返済予定の長期借入金	166	83
未払金	466	442
未払法人税等	30	53
賞与引当金	151	140
その他	268	246
流動負債合計	11,135	9,725
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	500	500
繰延税金負債	247	183
再評価に係る繰延税金負債	251	251
役員退職慰労引当金	198	215
退職給付に係る負債	1,576	1,572
その他	385	381
固定負債合計	3,659	3,603
負債合計	14,795	13,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,352	2,352
資本剰余金	497	497
利益剰余金	3,059	3,001
自己株式	△19	△19
株主資本合計	5,889	5,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	878	785
繰延ヘッジ損益	4	1
土地再評価差額金	217	217
退職給付に係る調整累計額	17	9
その他の包括利益累計額合計	1,118	1,014
純資産合計	7,007	6,845
負債純資産合計	21,802	20,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	61,308	60,352
売上原価	57,993	57,035
売上総利益	3,314	3,317
販売費及び一般管理費	3,263	3,342
営業利益又は営業損失(△)	51	△25
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	33	35
受取賃貸料	71	64
貸倒引当金戻入額	1	2
その他	17	13
営業外収益合計	127	119
営業外費用		
支払利息	10	9
賃貸費用	40	39
その他	8	8
営業外費用合計	59	57
経常利益	119	37
特別利益		
固定資産売却益	181	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	183	—
特別損失		
減損損失	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益	303	30
法人税、住民税及び事業税	19	27
法人税等調整額	△8	△21
法人税等合計	10	5
四半期純利益	292	24
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	292	24

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
四半期純利益	292	24
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△93
繰延ヘッジ損益	△13	△3
退職給付に係る調整額	△0	△7
その他の包括利益合計	39	△103
四半期包括利益	332	△79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	△79
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303	30
減価償却費	129	73
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△56	△3
受取利息及び受取配当金	△37	△38
支払利息	10	9
有形固定資産売却損益(△は益)	△181	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
減損損失	—	7
売上債権の増減額(△は増加)	△432	843
たな卸資産の増減額(△は増加)	274	△545
その他営業債権の増減額(△は増加)	△23	△48
仕入債務の増減額(△は減少)	488	△1,797
その他営業債務の増減額(△は減少)	△19	△61
未収消費税等の増減額(△は増加)	△22	△11
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8	△4
その他	△0	△10
小計	413	△1,561
利息及び配当金の受取額	45	57
利息の支払額	△10	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△37	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	410	△1,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	21	—
有形固定資産の取得による支出	△61	△208
有形固定資産の売却による収入	625	—
無形固定資産の取得による支出	△2	△9
貸付けによる支出	△0	△85
貸付金の回収による収入	0	10
その他投資の取得による支出	△27	△1
その他投資の回収による収入	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	558	△298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△906	499
長期借入金の返済による支出	△83	△83
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△69	△81
リース債務の返済による支出	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,064	330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95	△1,494
現金及び現金同等物の期首残高	2,437	3,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,341	2,162

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,214	93	61,308	—	61,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	61,214	123	61,337	△29	61,308
セグメント利益	134	5	139	△88	51

(注) 1. セグメント利益の調整額△88百万円のうち、△88百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,259	93	60,352	—	60,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	60,259	122	60,382	△29	60,352
セグメント利益又は損失(△)	61	△0	60	△85	△25

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△85百万円のうち、△85百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、0百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

水産物販売事業セグメントにおいて、7百万円の減損損失を計上しております。